

萌丘東幼稚園
萌丘東保育園 ほいくだより

2023



ひがしっ子 7月



園長コラム

先日の保育参観。多くの皆様にご参加いただきましてありがとうございました。東園の保育参観は、できるだけ見ているだけではなく、保護者にも参加いただき、一緒の時間を共に過ごすことを心がけています。次回以降もご参加をお待ちしております。

さて、話は変わりますが、園だより等で先生達が「一人ひとりに寄り添って…」といった表現をするのをよく見かけていると思います。それを少し掘り下げたいと思います。

どういった方法で寄り添うとしているのでしょうか。

→ 気持ちや発達の段階をとらえて、適切な距離感で適切な支援をしていく。

そして寄り添うことで、何を達成したいと考えているのでしょうか。

→ 常に隣に誰かがいる安心感を感じてもらうことです。

乳幼児期のこどもにとって、常に隣に誰かがいる安心感があるから、自分に自信をもって何でも試したり（スキルの習得）、他の人に関わってみたり（社会性の醸成）、自分の感情を受け入れて表現できたり（情緒の発達）します。そういったこども達の背中を後押しする先生達の思いが「一人ひとりに寄り添って…」に集約されています。

0～2歳児クラスの1か月

はじめての夏

乳児期に汗をかくことで汗腺が育ち、元気いっぱい遊びまわられる身体になっていきます。そのため、汗をかいて遊ぶことと、十分に休息をとることを大切にしています。さすがに暑さも厳しさを増してきましたので、水遊びやホールで体を動かすことが多い時期となってきました。





3～5歳児クラスの1か月

自然と笑顔になる

今年も保育参観には多くの保護者が来ていただきました。外で一緒に遊んだり、室内で一緒に製作したりする様子があふれていました。私も撮影がてら園内を回っていたのですが、こども達の自慢げに「できるんだよ！みてみて！」といった姿におもわず顔がほころびました。





大人顔負け

さすがに3～5歳児クラスになってくると、先生だけではなく、友達からも沢山の刺激をもらうようになります。真似ることを学ぶと言うとは言ったものです。これから2学期になって、運動会や発表会等、友達と一緒に何かを作り出していくことを仕掛けていく時期になってきます。写真の子どもたちのように、一人ひとりが何かに向き合って真剣に取り組んできた経験が、その支えになります。

